

高等学校における教科指導の充実

国 語 科

「書くこと」の指導の工夫

栃木県総合教育センター  
平成18年3月

## ま え が き

栃木県では、平成13年度に「とちぎ教育振興ビジョン」を策定し、新しい時代への展望に立った教育計画に基づいて、様々な教育施策を推進してきました。その基本理念は「とちぎ教育振興ビジョン(二期計画)」においても引き継がれ、事業を展開するにあたっての視点の一つとして「学ぶ力をはぐくむ教育の充実」が盛り込まれています。

また、学力に関する国際的な調査や教育課程実施状況調査によって、生徒の学力の状況や学習に対する意識などが明らかにされてきました。これらの調査の報告書においても、学力向上のための提言がなされています。

これらのことから、総合教育センターでは、「高等学校における教科指導の充実に関する調査研究」事業を新たに起こしました。この調査研究の目的は、基礎・基本の確実な定着を図るための授業改善を目指して、教科指導の在り方について研究し、その成果を普及することにより、学力の向上に資することにあります。今年度は、国語科、地理歴史科、数学科、外国語科(英語)の4教科において、教育課程実施状況調査等の調査結果から指摘されている課題を踏まえ、その解決を図るための授業改善の方策等について研究に取り組みました。研究の成果をまとめた本冊子を、各学校の実情に応じて有効にご活用いただければ幸いです。

最後に、今年度の調査研究を進めるにあたり、ご協力いただきました研究協力委員の方々に深く感謝申し上げます。

平成18年3月

栃木県総合教育センター所長

佐藤 信勝

# 目 次

はじめに	1
事例 1 目的や場に応じて適切に書く	2
事例 2 アサーティブな表現方法を生かして文章を書く	15
事例 3 「書くこと」の言語活動を通して評論文を的確に読む	27
事例 4 「書くこと」の言語活動を通して小説を的確に読む	32
おわりに	39

# 「書くこと」の指導の工夫

## はじめに

国語科では、教育課程実施状況調査やOECD生徒の学習到達度調査（PISA）等の結果から指摘されている課題を踏まえ、学習指導要領の趣旨に則り、今年度の研究テーマを『書くこと』の指導の工夫」として、研究に取り組んだ。

PISA調査において注目すべきは、OECD平均と比べて、日本の高校生は自由記述問題が特に不得手であり、無答率が際立って高い点である。このことが、読解力に関して、前回（2000年）調査の8位から今回（2003年）調査の14位へと大きく順位を下げたことの主要な原因の一つであると指摘されている。PISA調査における「読解力」とは、「自らの知識と可能性を発達させ、効果的に社会に参画するために、書かれたテキストを理解し、熟考する能力」と定義されている。この調査のねらいとするところは、学習指導要領で生徒に身に付けさせたいと考えている、資質・能力と相通じるものである。

学習指導要領国語は、「言語の教育」としての立場を重視し、「伝え合う力」を育成することに重点を置いて改善が図られ、領域構成が「話すこと・聞くこと」、「書くこと」及び「読むこと」の領域と「言語事項」とに改められている。また、実践的な指導の充実を図る観点から言語活動例（41ページ参照）が示され、その数は高等学校国語科全体で24に上る。

PISA調査で課題とされた「読解力」を育むためには、「読むこと」の指導の改善にとどまらず、各領域にふさわしい教材や言語活動例を調和的に取り上げ、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の指導についても改善し、国語力を総合的に高める必要があると思われる。

以上のことから、今年度は、「書くこと」の言語活動を取り入れた指導の工夫・改善の研究に取り組んだ。各事例で扱った単元は次のとおりである。

### 事例1 目的や場に応じて適切に書く

伝える目的や場を意識し、効果的な表現を工夫して書く力を育むための指導。

### 事例2 アサーティブな表現方法を生かして文章を書く

相手の立場を尊重しながらも、自分の考えを的確に伝える力を育むための指導。

### 事例3 「書くこと」の言語活動を通して評論文を的確に読む

「書くこと」に関する言語活動を通して、評論文の論理の展開や要旨を的確にとらえるための指導。

### 事例4 「書くこと」の言語活動を通して小説を的確に読む

「書くこと」に関する言語活動を通して、小説の人物、心情などを的確にとらえるための指導。

## <研究協力委員>

栃木県立足利女子高等学校	教諭	砂金	麻理子
栃木県立足利商業高等学校	教諭	篠崎	晃江
栃木県立高根沢商業高等学校	教諭	谷中	委代

## <研究委員>

栃木県総合教育センター	研究調査部	指導主事	吉澤	正光
-------------	-------	------	----	----